

6 本時のねらい

製作品のくぎ接合をする場面において、材料を固定したり接合する順序を考えたりして釘接合をすることを通して、耐久性を高めるために製作品を正確に組立てることができる。

7 本時の展開（13／16時）

過程	生徒の主な学習活動	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて	留意点等
課題設定	<p>1 前時を振り返り、どのような願いをもっているか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1mm もずれがないように ・ 製作品に傷がつかないように <p>2 これから作業をする上で困ることはないか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どこから打ち始めると良いか ・ どのように固定すると良いか 	<p>【主体的な学び】 学習を振り返って評価・改善する</p> <p>前時を振り返らせることと、どんな製作品にしたいかを想起させることで正確性にこだわっていきたいという願いをもたせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時、ジグを作ったことを想起させる。 <p>工夫・改善点 1mm ずれるとどのような不具合が生じるのか確認し、正確性を追究できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ げんのうの使用法や打ち方を確認する。
	<p>課題：正確に材料を組立てるにはどんな所に気を付けるとよいだろう</p>		
課題追究	<p>3 釘打ちをする順番を教える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の製作品はどこから組み立てるとよいでしょう。 ・ 背板は後から取付けられそうだ。 <p>4 個人追究をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 固定や正確さを大切にして作業に取り掛かりましょう。 	<p>【主体的な学び】 現在や将来を見つめる</p> <p>全体の課題を受けて、個人の本時における課題をもたせる。</p>	<p>工夫・改善点 目指す姿をはっきりさせ、本時の目的を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組み立てる順番を確かめる際に、なぜこの順序で組み立てていくとよいのかを考えさせる。 ・ 適宜必要であれば、中間指導を入れる。 ・ 釘を打つ時は少ない回数で打つ良さを確認する。
	<p>釘打ちをする際に組み立てスタンドをジグとして用いることによって、部品がぐらつかないように固定して、一人で作業を正確に行えるようにする。</p> <p>5 ペアで今日の作業を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペアの視点で評価しましょう。 ・ 真っ直ぐに釘が入っているのかを確認しながら作業を進めてきたから、失敗をせずに正確な釘打ちができた。 ・ 接着剤を併用して組み立てることによって、より丈夫で長持ちする製作品になった。 ・ 一本一本慎重に釘を打つ順番にこだわるとズレがない正確な作品に仕上げることができた。 	<p>【主体的な学び】 粘り強く取り組む</p> <p>接着剤の塗布や、釘がはみ出たりした時など、作業でつまづいた際にはどのようにすれば解決できるのか、ヒントカードを用意し、個人で解決できるようにする。</p> <p>【対話的な学び】 他者との協働(相互による評価)</p> <p>自分の課題が達成されているかどうかを個人による評価と仲間による評価で確認する。</p>	<p>工夫・改善点 写真や図を用いて、解決方法がわかるようにする。</p> <p>工夫・改善点 個人の課題をもとに、客観的に見てできていればチェックを入れていく。</p> <p>工夫・改善点 学習したことを一般化することによって技能を身に付けるだけの時間にならないようにする。</p>
課題解決	<p>6 本時の振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 正確に作業することにこだわること、耐久性が高められたけれども、これを生活の製品に置き換えるとどんなことが言えるかな。 <p>■授業後の意識</p> <p>切断するときなどもそうであったが、工具を使用する際には、材料を固定することによって正確な作業ができ、耐久性が高められるから、製作品を正確に組立てるためにはしっかり固定することが大切だと分かった。今回は棚であったが、例えば家が1mmでもずれていたら、傾いた欠陥住宅になってしまう。そうならないように身の回りのものは緻密にできているので、私ももっとこだわって作業に取り組みたいです。</p>	<p>【主体的な学び】 振り返って次へつなげる</p> <p>本時、学習したことが生活や社会の中でどう生かされているのかを踏まえてまとめる。</p>	<p>■評価の観点</p> <p>【生活の技能】 材料を固定したり接合する順序を考えたりすることで正確に接合できることに気づき、工具を正しく使用して製作品を適切に組立て、耐久性を高めることができる。</p> <p>■評価の根拠 作業の様子 組み立てた製作品の状態</p>

